

# 令和3年度 大阪市立大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

## 2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようにする。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

## 3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

## 4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

# 令和3年度 大阪市立大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	158	59	51	3.5	6.3
	大阪市	—	61	55	5.1	12.3
5月27日	全国	—	64.6	57.2	4.4	11.2

## 2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	155	62.6	42.5	39.6	35.1	43.0	7.4	5.7	11.2	4.4	4.0
	大阪市	—	65.6	47.5	46.9	42.6	52.9	7.3	5.8	10.7	4.1	3.1
9月2日	大阪府	—	65.8	48.2	48.1	43.0	53.2	7.6	5.8	11.2	4.5	3.4
2 年	学校	168	51.3	44.0	52.9	49.7	46.5	16.9	8.4	12.6	7.4	8.4
	大阪市	—	57.5	51.2	59.0	53.9	57.8	12.1	6.4	9.4	5.6	5.5
1月13日	大阪府	—	58.8	52.2	60.1	54.4	58.5	11.9	6.4	9.4	6.0	5.6
1 年	学校	154	58.6	56.8	59.1	62.2	59.6	10.3	2.2	5.0	3.7	4.5
	大阪市	—	60.8	56.2	57.2	60.7	62.6	9.7	3.0	6.2	3.8	4.6
1月13日	大阪府	—	62.2	—	58.5	—	63.5	9.7	—	6.2	—	4.7

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はC問題を選択

## 3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	151	85.6	96.4	114.7	75.7
10月19日	大阪市	—	100.9	108.0	140.3	93.0

## 4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトル ラン	持久走 1500m	50m走	立ち 幅とび	ハンドボール 投げ	体力 合計点
	168	(kg)	(数)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2 年 男 子	学校	30.60	23.40	37.50	52.60	81.90	—	7.80	192.30	22.50	41.80
	大阪市	28.90	26.70	42.10	51.80	78.30	—	8.00	195.40	20.00	40.70
	全 国	28.80	25.90	43.60	51.10	79.80	—	8.00	196.30	20.30	41.10
2 年 女 子	学校	25.30	20.70	40.10	46.60	45.40	—	9.10	173.60	12.80	46.80
	大阪市	23.40	22.40	44.70	46.90	53.60	—	9.00	167.70	12.60	48.00
	全 国	23.40	22.30	46.20	46.20	54.20	—	8.80	168.10	12.70	48.50

## 令和3年度 大阪市立大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

### 調査結果から

#### 【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 全国と比較して、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域において、全国平均を上回る成果が見られたが、「読むこと」の領域においては課題がある。また、平均無解答率は全国平均を下回る結果であった。

＜数学＞ 全国と比較して、「関数」領域において、全国平均程度であるという成果がみられたが、「資料の活用」の領域においては課題がある。また、平均無解答率は全国平均を大きく下回る結果であった。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

＜成果＞平均点は大阪府と比較して、国語で3ポイント、社会で6ポイント、数学で9ポイント、理科で8ポイント、英語で10ポイント下回る結果となった。

＜課題＞国語において、「情報の扱い方に関する事項」の領域では一定の成果がみられたものの、「読むこと」の領域では課題があった。社会において、「歴史的分野」の領域では一定の成果がみられたものの、「地理的分野」の領域では課題があった。数学において、「数と式」の領域では一定の成果がみられたものの、「図形」の領域では課題があった。理科において、「エネルギー」の領域では一定の成果がみられたものの、「粒子」の領域では課題があった。英語において、「聞くこと」の領域では一定の成果がみられたものの、「書くこと」の領域では課題があった。

○大阪市英語力調査(英検IBA)において、

＜成果＞全体的に大阪市平均を下回るものであったが、リスニングは、大阪市平均に比較的近い数値であった。

＜課題＞特に、ライティングは大阪市平均を大きく下回るものであった。

○中学生チャレンジテスト(1年生・2年生)・中学生チャレンジテストplus

＜成果＞平均正答率において、1年生で社会・数学・理科で大阪府(piusは大阪市)平均を上回る結果となった。

＜課題＞2年生において、各教科で5～12ポイントほど、大阪府平均を下回る結果となった。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、

＜成果＞毎授業において、筋力向上のための補強運動を取り入れていることで、握力が全国平均を上回っていることが考えられる。また、持久走の授業で生徒達に100%以上の力を出し切る指導することで持久力も確実についている。

＜課題＞今回の数値で全国平均を上回っている項目は5項目であるが、3種目が下がっている。このうちの長座体前屈の数値が明らかに低く、柔軟性が著しく低いことがうかがえる。そのために毎授業でストレッチ運動に加えて、柔軟性を高める運動を実施していきたい。

#### 【今後に向けて】

授業規律を確保しつつ、生徒の学力向上に向けた授業改善に向けた取組として、「主体的で対話的な深い学び」の授業改善を推進する校内研修をおこなっていく。

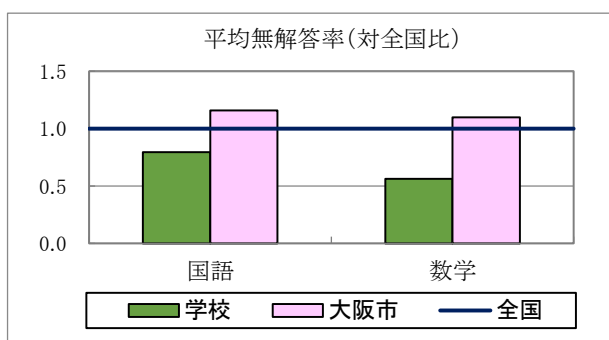
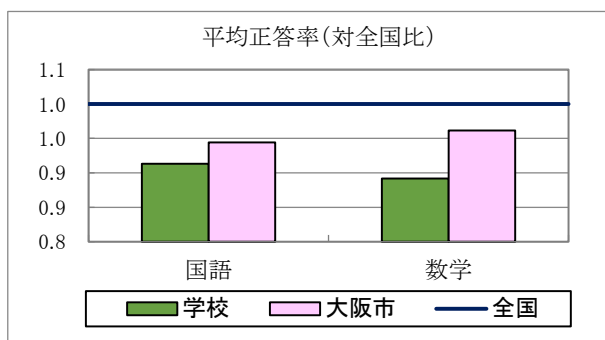
# 令和3年度 大阪市立大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

## 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

### 【 全 体 】

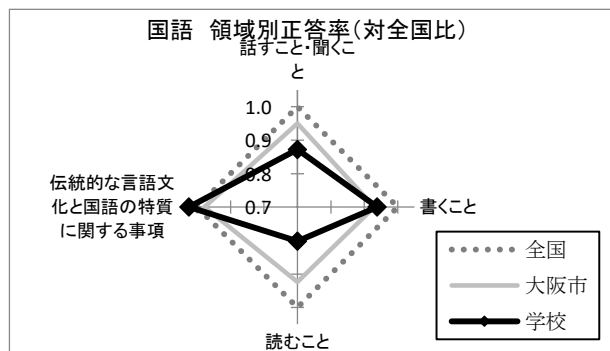
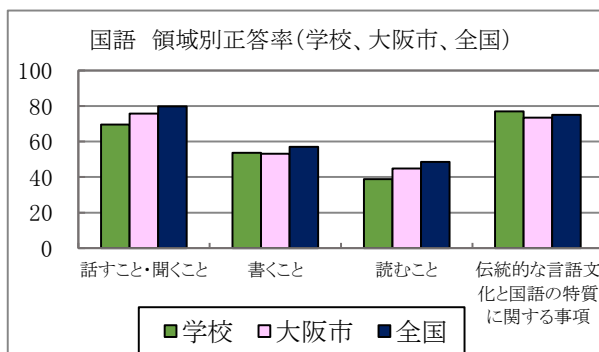
	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	59	51
大阪市	61	55
全国	64.6	57.2

	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	3.5	6.3
大阪市	5.1	12.3
全国	4.4	11.2



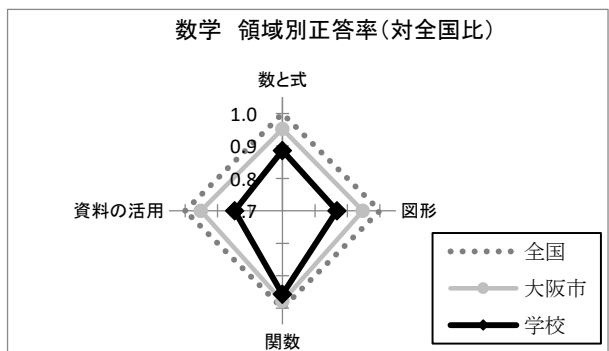
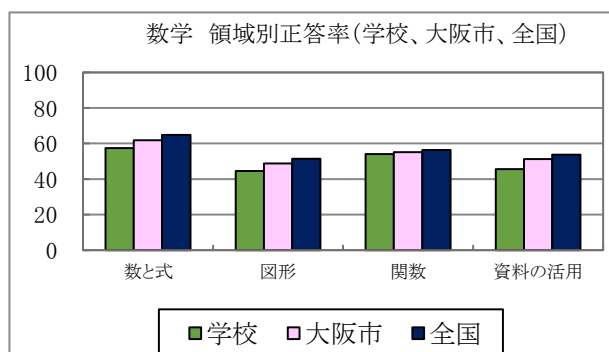
### 【 国 語 】

学習指導要領の 領域等	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	69.6	75.8	79.8
書くこと	3	53.6	53.1	57.1
読むこと	4	38.9	44.8	48.5
伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	4	76.9	73.4	75.1



### 【 数 学 】

学習指導要領の 領域等	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	5	57.5	61.8	64.9
図形	4	44.6	48.7	51.4
関数	3	54.0	55.2	56.4
資料の活用	4	45.6	51.2	53.8

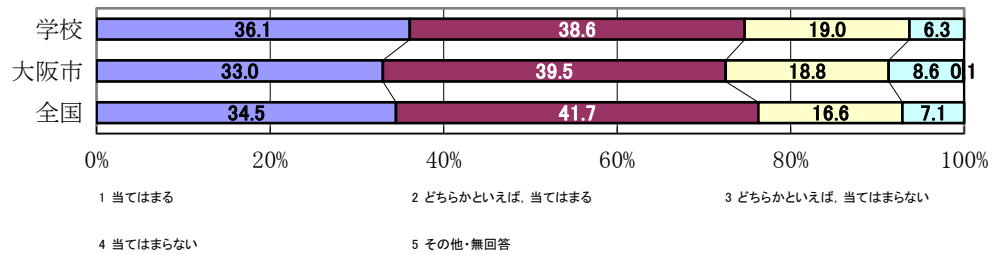


# 令和3年度 大阪市立大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

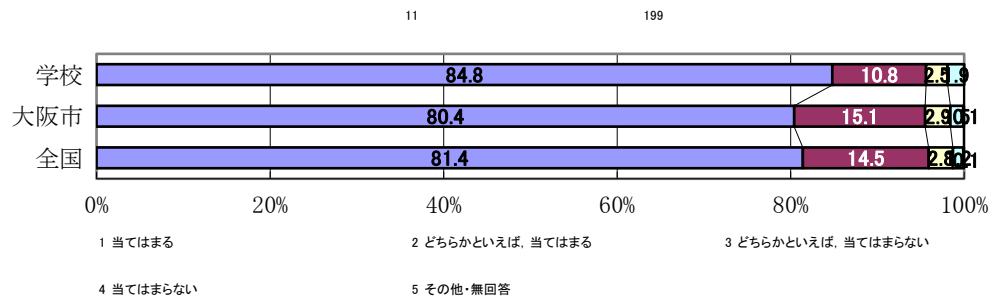
## 生徒質問紙より



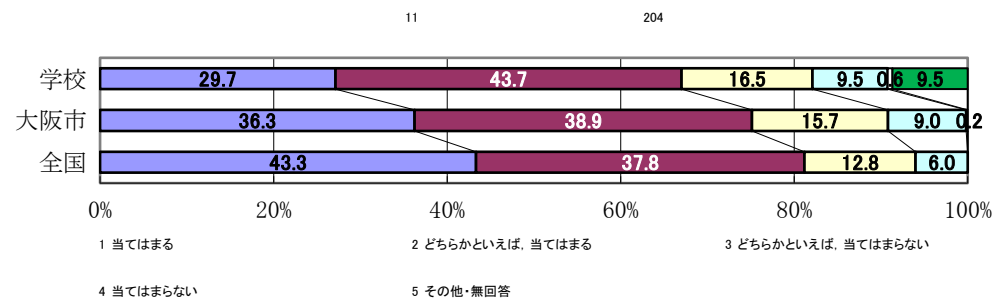
質問番号
質問事項
6
自分には、よいところがある と思いますか



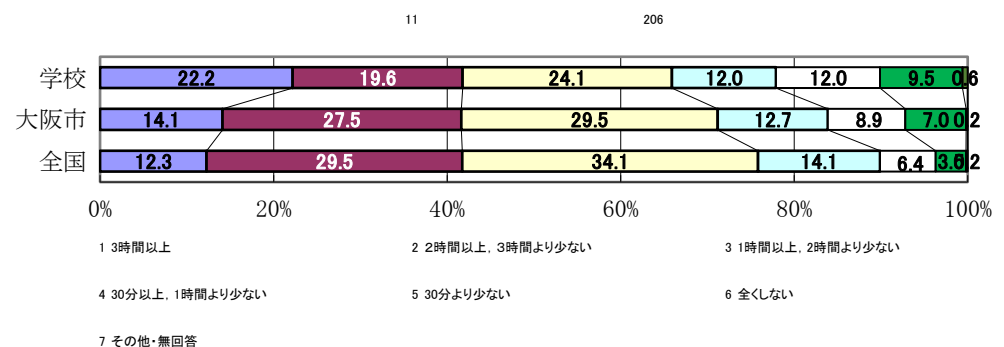
11
いじめは、どんな理由が あってもいけないことだと思 いますか



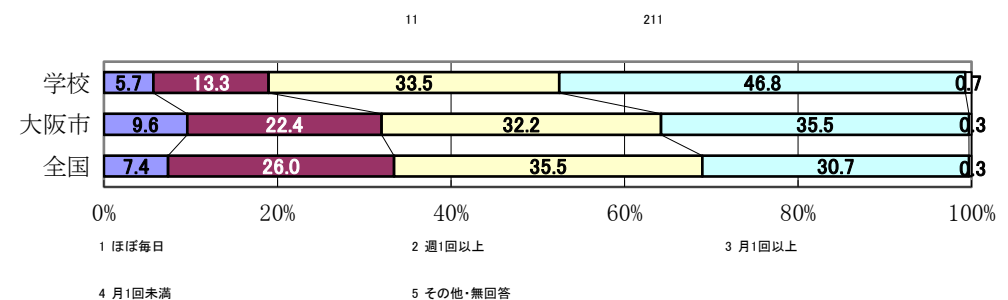
13
学校に行くのは楽しいと思 いますか



18
学校の授業時間以外に、 普段(月曜日から金曜日)、 1日当たりどれくらいの時 間、勉強をしますか(学習 塾で勉強している時間や家 庭教師に教わっている時



26
1, 2年生のときに受けた授 業で、コンピュータなどの ICTをどの程度使用しまし たか



# 令和3年度 大阪市立大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

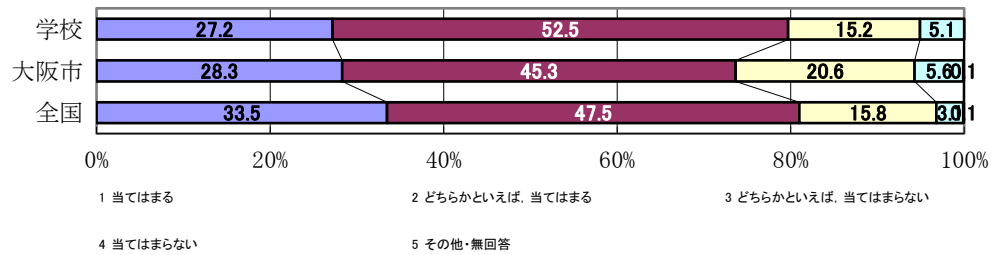
## 生徒質問紙より



質問番号  
質問事項

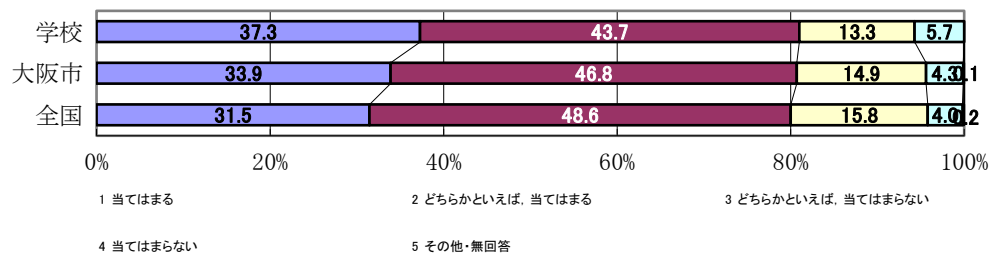
33

1, 2年生のときに受けた授業では, 課題の解決に向けて, 自分で考え, 自分から取り組んでいましたか



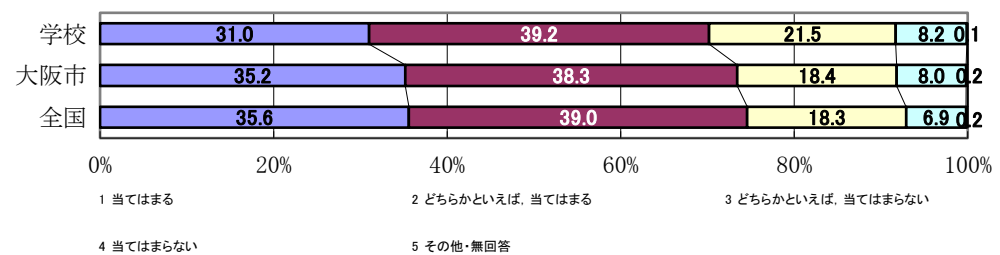
45

国語の授業の内容はよく分かりますか



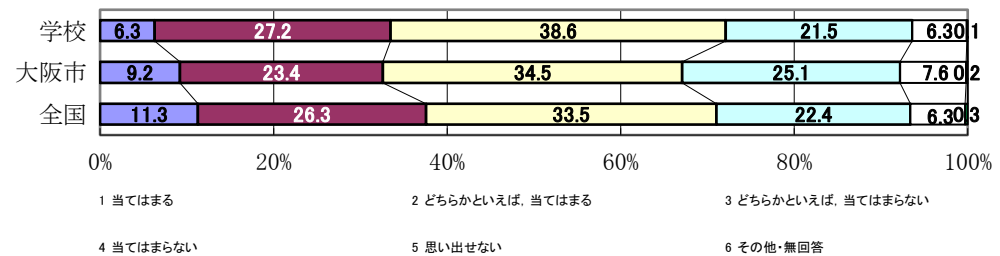
54

数学の授業の内容はよく分かりますか



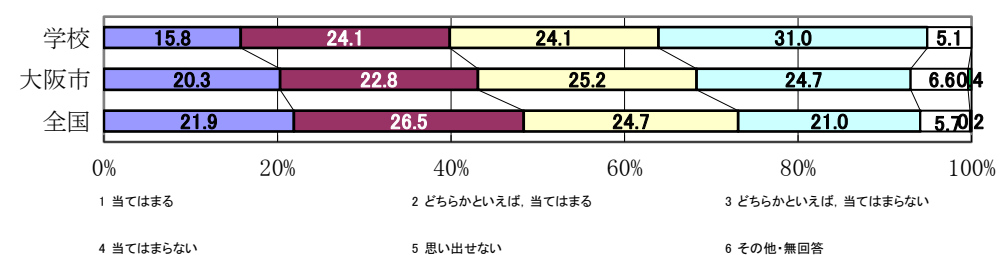
65

新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中, 計画的に学習を続けることができましたか



66

新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中, 規則正しい生活を送っていましたか





# 令和3年度 大阪市立大正東中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

## 学校質問紙より

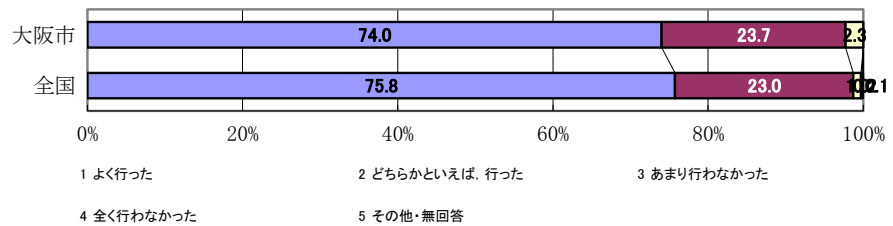
質問番号

質問事項

10

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持しましたか

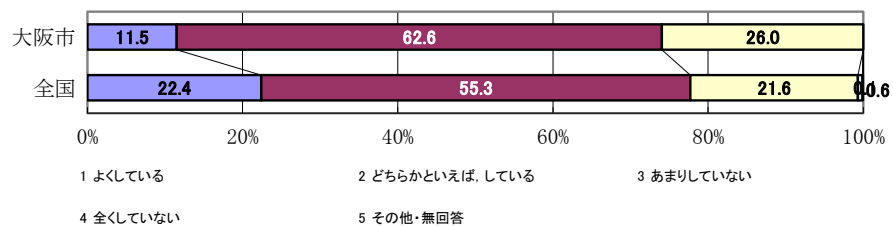
### 学校「よく行った」を選択



24

生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学級活動を学ぶ校内研修を行っていますか

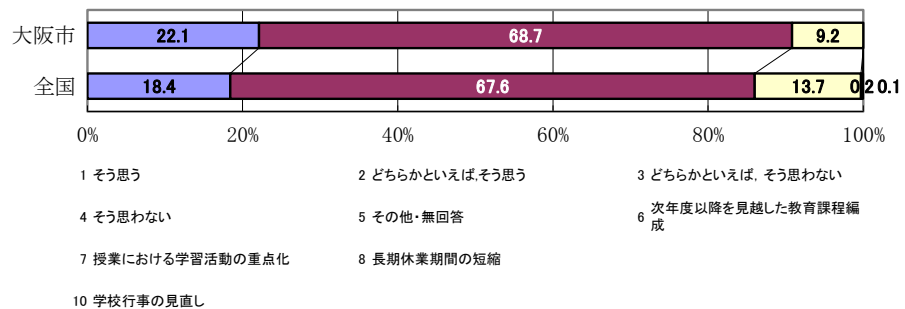
### 学校「よくしている」を選択



29

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

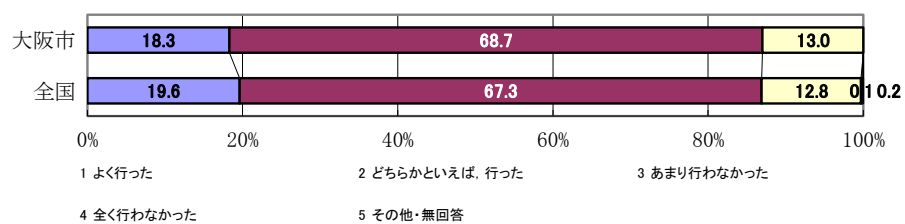
### 学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



36

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

### 学校「よく行った」を選択



64

コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、遠隔・オンライン授業を行うための準備ができていますか

### 学校「できている」を選択

